



2022年3月29日

各 位

会社名： 日東電工株式会社  
(コード番号 6988 東証第一部)  
代表者名： 取締役社長 高崎 秀雄  
問合せ先： 取締役 経理財務本部長  
伊勢山 恭弘  
電話番号： 06-7632-2101(代表)

### 当社取締役会の実効性に関する評価の結果の概要について

当社は、東京証券取引所が定める「コーポレートガバナンス・コード」に基づき、取締役会の実効性に関する分析・評価を実施し、この度、2021年度の分析・評価が完了しました。その概要は下記のとおりです。

#### 1. 分析・評価の方法

当社取締役会は、昨年に引き続き、第三者機関によるアンケートを実施し、この結果に基づき、取締役会で討議したうえで実効性に関する分析・評価を行いました。

#### 2. 実効性評価アンケート項目

・取締役会の構成	3問
・取締役会の運営	8問
・リスク管理	3問
・取締役会の議論	9問
・取締役会のモニタリング機能	3問
・役員のトレーニング	2問
・株主との対話	2問
・役員個人の取組み	7問
・総括	3問

計40問

#### 3. 分析・評価結果の概要

##### i) 総論

取締役会の実効性は確保されているものと評価いたしました。

##### ii) 分析・評価

実効性評価アンケートは5段階評価で、全取締役および全監査役がアンケートに回答しました。結果、多くの質問において、「適切」または「おおむね適切」との回答がなされました(全アンケート質問の93%)。特に、昨年に引き続いて、取締役会では、社外取締役・社外監査役も含めた自由闊達な議論が行われ、審議事項や時間についても、おおむね適切な運用がなされていたことを確認しました。

昨年課題として認識したグループ全体の内部統制システム構築・運用状況の監督については、内部統制基本方針を改定し、専門機能部署とエリア統括が連携しリスク情報を取

り纏め、取締役会および経営戦略会議が定期的に報告を受けることができる体制を構築しました。また、人財育成についても活発な議論を行い、人財マネジメント基本方針を新たに策定しました。

今年度は、人財戦略に関する議論の更なる充実に加え、スキル・マトリックスへの対応を課題として認識しています。また、昨年引き続きE S G経営推進についても意見が出されました。

#### 4.今後の対応

当社取締役会は、上記の分析・評価の結果を踏まえ、取締役会全体の実効性をさらに高めていくための継続的な取組みを行ってまいります。

以上